

技能実習制度について 検討中の企業向け



pixta.jp - 41086820

AHRC事業協同組合

内容

1. 外国人材を受け入れるということ
2. 企業の業績アップの実現
3. 技能実習生に選ばれる会社になる
4. 技能実習とは



外国人材を受け入れるということ



pixta.jp - 41086820

外国人材を受け入れることとは

最近忙しいなあ…
納期に間に合わせるのが大変だ…
大口の受注が取りたいなあ…



人手が足りない
労働力が必要

人件費をかけずに
従業員を雇いたい

では最近話題の外国人材を受け入れしてみるか
…この考え方は正しいとは言えません

外国人材を受け入れることとは

うちは大企業ではないし
経験もないから
外国人の労務管理や生活支援は
無理かなあ

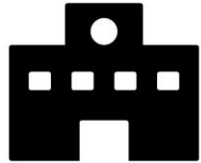


確かに外国人材を雇用するのは簡単ではありません

法令
言葉の壁
カルチャーギャップ

…など課題はたくさんあります

外国人材を受け入れることとは



大企業だと、資金や従業員数の面で確かに有利です。

ただし、大企業ならトラブルなく外国人材が受け入れできて、中小企業だとトラブルが多い…そういうわけでもありません。

…ニュースを見てもお分かりのように、大企業による法令違反も多いです。

会社に言われてやっているから、というスタンスで外国人材の受け入れをしている人も多いです。

外国人材を受け入れることとは

対して、外国人材の採用も指導も真剣に取り組んでいる
中小規模の会社の社長さんもいらっしゃいます。



会社の存続がかかっているから、
真剣に外国人材と向き合います。

自分に対して一生懸命なことが伝わると
外国人材も心を開いてくれます。

「人として」向き合うことが大切なのです。

外国人材を受け入れることとは



時にはもめることもあります。
こちら側の気持ちが伝わらないこともあります。

でもそれは相手が日本人でもありうることです。

うまくいかなかったら、その理由をしっかりと考えてください。
「だから外国人材はダメだ」とか
「〇〇人は合わないから、〇〇人にしよう」とは
簡単に思わないでください。

根本的な原因を解決しないまま、他を探しても同じことを繰り返す
可能性があります。

外国人材を受け入れることとは

一般的に悪いニュースばかり報道されますから、
こういう声をあまり聞くことはありませんが
「外国人材を受け入れて良かった」
「前よりも生産性が上がった」という企業もたくさんあります。



真剣に外国人材と向き合っている企業は
比較的うまくいっています。

「人として」向き合うことが大切なのです。

企業の業績アップの実現



pixta.jp - 41086820

企業側の声

外国人材の活躍は企業の成長をもたらします
技能実習生の受入れ企業からは
「他の日本人従業員が嫉妬するほど技能実習生は仕事ができる」と
いう意見もよく聞きます。



実習生の潜在能力は計り知れないものです。

人手不足だから実習生を受け入れる、
そいう考え方は実習生に失礼です。
また、そういう会社は5年後に生き残ることは
難しいでしょう。

評判の良い企業の情報はネットワークで広がるため、引き続きよい実習生が集まります。